

令和4年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	480	未来に引き継ぐ、環境にやさしいまちをつくる
施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる
施策の目標	区民・事業者に省資源・省エネルギー行動が定着し、創エネルギーや蓄エネルギー設備の導入も進んで、温室効果ガスの排出を抑制したスマートエネルギーのまちとなっています。また、区民・事業者・区が協働して、環境にやさしいまちを実現するために環境保全活動に取り組んでいます。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	区域におけるエネルギー消費量									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	12,562TJ				11,737TJ					10,280TJ
実績			11,882TJ							

指標名	区域における温室効果ガス排出量									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	126.0万t-CO ₂				112.6万t-CO ₂					89.3万t-CO ₂
実績			120.6万t-CO ₂							

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、省資源・省エネルギー、温室効果ガス排出量の削減となり、環境にやさしいまちを実現することに繋がる。 道路照明灯、公園園内灯の多くはリース化によるLED化を行ったが、デザイン照明灯などの一部は未だ、水銀ランプを使用している。 水銀ランプは、「水銀規制に関する水俣条約」により製造中止となったので、LED照明灯への交換を急ぐ必要がある。	R1	231,028
	R2	235,696
	R3	238,375

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	照明灯のLED化率は、道路照明灯95%、公園園内灯89%となった。LED化が進んだことで、省資源・省エネルギーとなり、温室効果ガス排出量の削減に繋がっている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
道路、公園等の照明灯のLED化が完了するまで、継続する必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
道路、公園等の照明灯をLED化を継続しつつ、温室効果ガス排出量の削減できる施設がほかにないのか検討していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	道路照明灯LED化事業費	189,368	12,314	201,682	82	現状維持
					82	令和3年度
2	公園園内灯LED化事業費	49,007	12,314	61,321	48	現状維持
					41.5	令和3年度
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる			部内優先順位
事業名	道路照明灯LED化事業費				1
目的	現在、照明灯で使用している水銀灯や蛍光灯を、環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、環境対策及び維持経費抑制を行う。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	道路法				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	<p>「水銀規制に関する水俣条約」の採択及び省エネ性能の基準を定める経済産業省の「トップランナー制度」等のLED化への移行の流れを受けて、既存ランプの製造部品が入手困難になり、令和2年末の水銀ランプ製造中止が、主要メーカーの一部で平成29年度に前倒しされた。</p> <p>これを受けて区内にある道路照明灯約1万本のうち、リース方式で7,690本をLED化した。</p> <p>また、本事業の対象とする約2,600本については、令和5年度までにLED化を完了するよう進めている。</p> <p>老朽化しているポールの改修については、設置後30年以上経過しないように計画的に建替えを行う。</p> <p>LED化対象基数:10,794基</p>				
経過	開始年度	平成29年度		終了予定	
	過去3年間の実績	[令和元年度]	331基	[令和2年度]	141基
議会質問の状況	[平成30年2定] リース契約における灯具の維持管理について				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)	0	75,628	199,501	190,116	190,116	219,179
A.決算額(令和4年度は見込み)	0	73,924	199,422	190,046	189,368	219,179
財源	国					
	都					
	その他					
一般財源	0	73,924	199,422	190,046	189,368	219,179
執行率(%)	#DIV/0!	97.7%	100.0%	100.0%	99.6%	100.0%
B.人コスト		9,056	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)	0	82,980	210,738	202,397	201,682	
予算書P(令和4年度)	P215 7-2		執行実績報告書P(令和3年度)		P158-2	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
使用料及び賃借料	灯具リース	99,632	使用料及び賃借料	灯具リース	99,633	使用料及び賃借料	灯具リース	99,632
工事請負費	交通安全施設改修	90,414	工事請負費	交通安全施設改修	89,736	工事請負費	交通安全施設改修等	119,547

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	LED化率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R5	目標		16	87	90
				実績		19	90	93
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	93	95	97	100	100	100
		実績	95	95				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	環境対策及び維持経費抑制の進捗の確認ができる、灯具のLED化した基数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		83.5	R5	目標	79		80.5	
				実績	79		79	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82		83.5		85	85
	実績	82						
指標の選定理由及び目標値の理由								
環境に配慮したLED照明灯に取り替え、安全・快適に通ることができる状態を確保することで、交通環境に満足している区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	LED化率が95%となり、一定の進捗が図られているため、今後も継続していく。

課題・問題点
LED化されていないデザイン照明灯があるため、水銀ランプ等の在庫がなくなれば、使用できなくなるので、進捗を急ぐ必要がある。 照明灯のポールは、腐食により倒壊等の危険性があるので、設置後30年以上経過しないよう、毎年コンスタントにポールを建て替えていく必要がある。

施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる			部内優先順位
事業名	公園園内灯LED化事業費				2
目的	現在、園内灯で使用している水銀灯や蛍光灯を、環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、環境対策及び維持経費抑制を行う。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	公園利用者				
根拠法令 関連計画	都市公園法、墨田区立公園条例				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	<p>「水銀規制に関する水俣条約」の採択及び省エネ性能の基準を定める経済産業省の「トップランナー制度」等のLED化への移行の流れを受けて、既存ランプの製造部品が入手困難になり、令和2年末の水銀ランプ製造中止が、主要メーカーの一部で平成29年度に前倒しされた。</p> <p>これを受けて、区内にある公園照明灯約1,400本のうち、リース方式で558本をLED化した。</p> <p>また、本事業の対象とする約600本については、令和5年度までにLED化を完了するよう進めている。</p> <p>老朽化しているポールの改修については、設置後30年以上経過しないように建替えを行う。</p> <p>LED化対象基数:1,384基</p>				
経過	開始年度	平成29年度		終了予定	
	過去3年間の実績	[令和元年度]	86基	[令和2年度]	79基
議会質問の状況	[平成30年2定] リース契約における灯具の維持管理について				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		0	17,275	31,650	45,695	49,050	54,607
A.決算額(令和4年度は見込み)		0	17,054	31,606	45,650	49,007	54,607
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	17,054	31,606	45,650	49,007	54,607
執行率(%)		#DIV/0!	98.7%	99.9%	99.9%	99.9%	100.0%
B.人コスト			9,056	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)		0	26,110	42,922	58,001	61,321	
予算書P(令和4年度)	P218 1-7	執行実績報告書P(令和3年度)			P161-6		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
使用料及び賃借料	灯具リース	15,357	使用料及び賃借料	灯具リース	15,357	使用料及び賃借料	灯具リース	15,357
工事請負費	玉替、灯柱改修	30,293	工事請負費	玉替、灯柱改修	33,650	工事請負費	玉替、灯柱改修	39,250

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	LED化率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		100	R5	目標		14	59	62
				実績		28	73	80
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	74	82	91	100	100	100
	実績	85	89					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	環境対策及び維持経費抑制の進捗の確認ができる、灯具のLED化した基数を目標値とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R5	目標	46.7		47	
				実績	46.7		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48		49		50	50
実績	41.5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
環境に配慮したLED照明灯に取り替え、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	LED化率が89%となり、一定の進捗が図られているため、今後も継続していく。

課題・問題点
LED化されていないデザイン照明灯があるため、水銀ランプ等の在庫がなくなれば、使用できなくなるので、進捗を急ぐ必要がある。 照明灯のポールは、腐食により倒壊等の危険性があるので、設置後30年以上経過しないよう、毎年コンスタントにポールを建て替えていく必要がある。